



平成27年2月13日

各 位

会 社 名 株式会社 新日本科学
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 永田 良一
(コード番号：2395 東証一部)
問 合 せ 先 代表取締役副社長 関 利彦
(TEL:03-5565-6216)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,288	600	20	△580	△14.58
今回修正予想 (B)	17,965	△805	8	△956	△24.03
増減額 (B-A)	△323	△1,405	△12	△376	
増減率 (%)	△1.8	—	△60.0	—	
(ご参考) 前年同期実績 (平成26年3月期)	16,926	△723	△154	△754	△20.11

2. 平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,350	1,135	△195	△4.90
今回修正予想 (B)	13,360	2,050	△730	△18.35
増減額 (B-A)	+10	+915	△535	
増減率 (%)	+0.1	+80.6	—	
(ご参考) 前年同期実績 (平成26年3月期)	12,563	1,728	△403	△10.74

3. 修正の理由

国内前臨床事業における第3四半期累計期間の受注は前年同期対比 108%と順調に増加しており、売上及び利益は当初予想を上回る見込みです。また、米国前臨床事業における第3四半期累計期間の受注も前年同期対比 205%と大幅に増加しております。しかしながら、米国前臨床事業においては契約獲得及び試験の開始時期が年度後半に偏重したことで、稼働率は想定していた操業に至りませんでした。また、トランスレーショナルリサーチ事業における交渉中ライセンス案件の契約時期が来期以降にずれ込むことが予想されることから、売上高および営業利益を修正いたしました。

経常利益は為替が予想より円安に振れていることから、本日公表しました「営業外収益 (為替差益) の計上について」でお知らせしました通り為替差益を計上しております。為替差益の計上により法人税の税負担が増加したため当期純利益は予想を下回りました。

平成26年12月24日に公表した『PPD (米国臨床CRO) との簡易会社分割 (合弁事業の開始)』については、効力発生日を平成27年4月1日としており、平成27年3月期通期連結業績への影響はありませんが、平成28年3月期において35百万米ドルの特別利益の計上を予定しております。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上